

沼津中央病院連携施設精神科専門医研修プログラム (沼津中央病院)

1 はじめに

本プログラムは民間精神科病院を基幹病院としている。我が国の精神科病床のほとんどが民間精神科病院であるという現実
に即し、地域社会に根ざした臨床実践的な内容を主軸としつつ、
学術や教育面にも配慮した包括的なプログラムを目指してい
る。



プログラム統括責任者 沼津中央病院 院長 杉山 直也

2 目的

静岡県東部に構える病院の特徴や専門性を生かし、病院間をローテートすることで、
精神科としての知識・技能を高め、精神保健指定医や精神科専門医資格等取得のための
準備を効果的・効率的に進めることを目的としている。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

公益財団法人復康会 沼津中央病院

静岡県東部精神科救急基幹病院、精神科専門医研修施設、卒後臨床研修病院、横浜市
立大学の卒後臨床研修病院として、静岡県東部における精神医学教育・研修の主要な役
割を担ってきた。静岡県東部の精神科救急基幹病院に指定され、現在までに 60 床の精神
科救急入院料を整えて、プレホスピタル領域から急性期、そして地域生活までの一貫し
た完結型医療を多職種チームによって提供している。統合失調症や気分障害、認知症な
どの代表的疾患のみならず、救急応需の使命によって児童から老年期までの多種多様の
精神疾患に対応する必要があるため、精神科領域におけるあらゆる治療プログラムを包
括的に準備しており、症例を通じてそれらを有効かつ統合的に活用する臨床経験を体得
できる。古くから地域精神科臨床の中核として、地域支援から充実した精神医療、教育
研修の体制を整えている。

(2) 専門研修連携施設

○ 連携施設 1：大手町クリニック

基幹病院である沼津中央病院のサテライトクリニックを昭和 40 年代初頭より担ってい
る。早期介入・早期治療をめざし、地域医療に活躍している。小規模デイケアを有し、小
世帯ながら多職種でのチーム医療や、精神科リハビリテーションが経験できる。

○ 連携施設 2：鷹岡病院

地域における精神科医療の中核を担っており、精神科救急から亜急性期、回復期、慢性
期、社会復帰まで幅の広い領域をカバーしている。措置入院、医療保護入院など非自発入
院の症例も多い。身体拘束や隔離など行動制限を要する場面もあり、精神科全般の症例や

治療場面を学ぶ機会がある。また数々の社会復帰プログラムや地域生活支援にも取り組んでおり、臨床現場で地域連携についても学習する機会がある。

○ 連携施設 3：NTT東日本伊豆病院

地域における認知症疾患センターとしての役割を果たすと共に、認知症から摂食障害、感情障害など幅広い診療を行い、身体合併症ケースも治療している。地域の総合病院精神科として、重要な機能を担っている。リエゾンや人格障害圏も含め、単科精神科病院とはことなる疾患を学ぶことができる。

○ 連携施設 4：聖明病院

地方における優れた依存症医療の中核を担っており、急性期から心理教育、自助グループまで多種の専門治療プログラムを有している。集団療法やAAなど特殊な治療を実地に体験できる特色のある病院である。

4 専攻医受入数

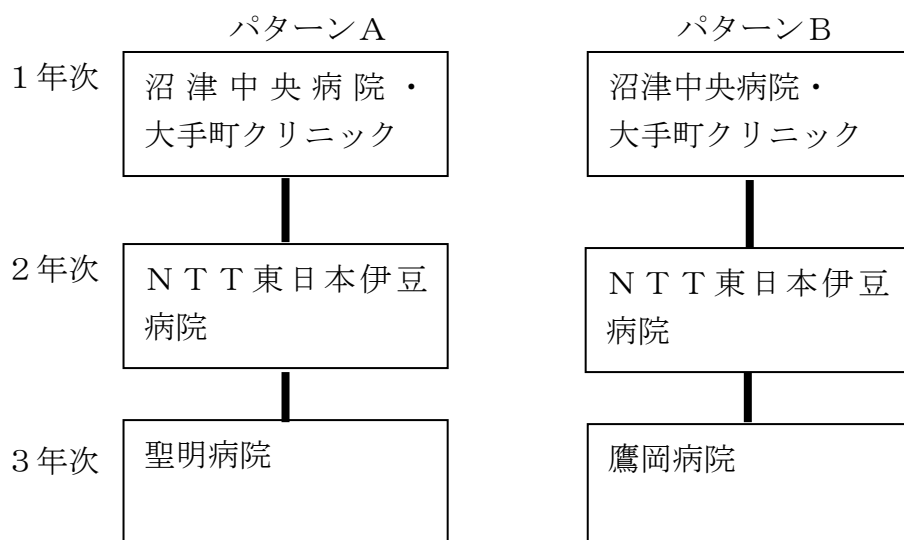
専攻医の募集人数：各年次（ 2 ）人

5 研修期間

3年間で予定しています。

6 研修計画（例）

ローテーションモデル例



7 問い合わせ先

問い合わせ先、申し込み方法、研修プログラムなどの詳細は
日本精神神経学会ホームページより、

「新専門医制度専門研修応募案内」

<https://www.jspn.or.jp/senkoi.html>

「精神科専門研修プログラム検索」

<https://www.jspn.or.jp/modules/program/>

を、ご覧ください。